



**青森産技** あおもりの未来  
技術でサポート

## プレスリリース

AITC Press release 2020.10.2



GOOD DESIGN AWARD

**2020年度受賞**

### [酒造好適米吟烏帽子展]

~科学コミュニケーションに基づく地方公設試のPR~

<https://www.g-mark.org/award/describe/51204?token=l8S4UGAqaA>

弘前工業研究所

# 地方独立行政法人 青森県産業技術センター

## ★組織名称の表記についてのお願い

地方独立行政法人青森県産業技術センターは県庁の組織ではありません。

地方独立行政法人青森県産業技術センターの名称を省略して表記する場合は、地方独立行政法人であることが明確に分かるよう、「(地独)青森県産業技術センター」又は、当センターの略称「青森産技」をお使いくださるようお願いいたします。

また各研究所の表記につきましても、「県〇〇研究所」ではなく、「(地独)青森県産業技術センター〇〇研究所」、又は「青森産技〇〇研究所」と表記してくださるようお願いいたします。

# [酒造好適米吟烏帽子展]

## ～科学コミュニケーションに基づく地方公設試のPR～

青森県産業技術センター(以下、青森産技)では、酒造好適米「吟烏帽子」の研究開発に関わる成果広報の手法を「グッドデザイン賞」に応募したところ、この度、受賞することができましたので、ご報告いたします。

### ●概要

地方公設試験研究機関(以下、公設試)の役割は地域企業に対する技術支援であり、これまでは「縁の下の力持ち」と呼ばれる黒子的存在であった。しかし近年では、公的資金活用の説明責任や開発した技術の普及に伴う市場課題の解決も求められるようになった。これに応えるため、自らの研究成果をPRし、ブランド化を意識した成果の社会実装を企画/デザインするなど、公設試には進化が必要となっている。そこで、酒造好適米吟烏帽子の開発過程を事例とし、「吟烏帽子展」を企画・開催した。県民との良好な科学コミュニケーションの実現と市民参加型意思決定による研究成果のブランド展開を目指し、展示会は、農家・醸造元・販売・消費者が新しい酒米を当事者として学習できる場として構築した。

### ●受賞機関

地方独立行政法人青森県産業技術センター弘前工業研究所 (担当部署: デザイン推進室)

- プロデューサー: デザイン推進室長 赤田朝子
- ディレクター: デザイン推進室 工藤洋司
- デザイナー: デザイン推進室 鳴海 藍

### ●デザイン推進室

デザイン推進室は、主に津軽塗や木工を中心とした県内の工芸品及びユニバーサルデザインやプロダクト(製品)デザインに関する研究を行っており、それに関連する展示やパッケージなどの相談にも対応しています。その他に、生活者から期待されるモノづくり・コトづくりに関する開発支援、試作支援なども行っています。今回の受賞では、青森産技内研究者と連携し、農家・醸造元・販売・消費者など利害関係者が当事者として意識できる広報計画を実践しました。

### ●主な展示写真など



吟烏帽子展ポスター



吟烏帽子展 展示1



吟烏帽子展 展示2



デザイナー: 鳴海藍(弘工研)

## 主な研究者たち (農家・醸造元・研究者)

### 「生産者」



ひらだて あきひこ  
平館昭彦様



きむら かつゆき  
木村勝行様



さとう すずむ  
佐藤 進様

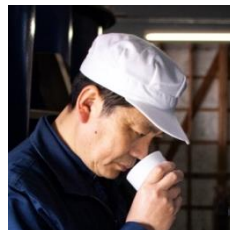
### 「醸造元」



こまいのぶゆき  
八戸酒造 駒井伸介様



こいずみ こうえつ  
桃川 小泉光悦様



さとう たくみ  
鳩正宗 佐藤 企様



かなざわたけひと  
関之井 金澤武人様

### 「青森産技」



まえだ かずはる  
水稲 前田一春



すとう みつる  
水稲 須藤 充



さいとう ともあき  
酒蔵 齋藤知明



おぐら あきら  
酒蔵 小倉 亮

### 【取材希望日時】

日時:10月9日(金) 10時~15時

場所:弘前工業研究所

住所:弘前市扇町1-1-8

### ●担当者

(地独)青森県産業技術センター 弘前工業研究所

所在地:弘前市扇町1-1-8

担当:デザイン推進室 工藤洋司

TEL:0172-55-6740 FAX:0172-55-6745

E-mail:yoji\_kudo@aomori-itc.or.jp

## グッドデザイン賞について

### ●グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、デザインによって私たちの暮らしや社会をよりよくしていくための活動です。1957年の開始以来、シンボルマークの「Gマーク」とともに広く親しまれてきました。

グッドデザイン賞は、製品、建築、ソフトウェア、システム、サービスなど、私たちを取りまくさまざまなものごとに贈られます。かたちのある無しにかかわらず、人が何らかの理想や目的を果たすために築いたものごとをデザインととらえ、その質を評価・顕彰しています。さらに、複雑化する社会において、課題の解決や新たなテーマの発見にデザインが必要とされ、デザインへの期待が高まっています。グッドデザイン賞は、審査と多様なプロモーションを通じて、デザインに可能性を見出す人びとを支援し、デザインにできること・デザインが生かされる領域を広げ、私たちひとりひとりが豊かに、創造的に生きられる社会をめざしています。

### ●グッドデザイン賞の理念

グッドデザイン賞はデザインの優劣を競う制度ではなく、審査を通じて新たな「発見」をし、Gマークとともに社会と「共有」することで、次なる「創造」へ繋げていく仕組みです。グッドデザイン賞では常に我々が向き合うべき根源的なテーマとして5つの言葉を「グッドデザイン賞の理念」として掲げています。



**GOOD  
DESIGN**

人間(HUMANITY)	もの・ことづくりを導く創発力
本質(HONESTY)	現代社会に対する洞察力
創造(INNOVATION)	未来を切り開く構想力
魅力(ESTHETICS)	豊かな生活文化を想起させる想像力
倫理(ETHICS)	社会・環境をかたちづくる思考力

